

平成30年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

入学試験問題 外国語科目（英語）

注 意

- 1 試験時間は90分。
- 2 問題紙は 5枚(表紙を除く)、解答紙は 4枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の使用は、不可とする。

【設問1】 次の英文を読み、下線部をすべて日本語に訳しなさい。

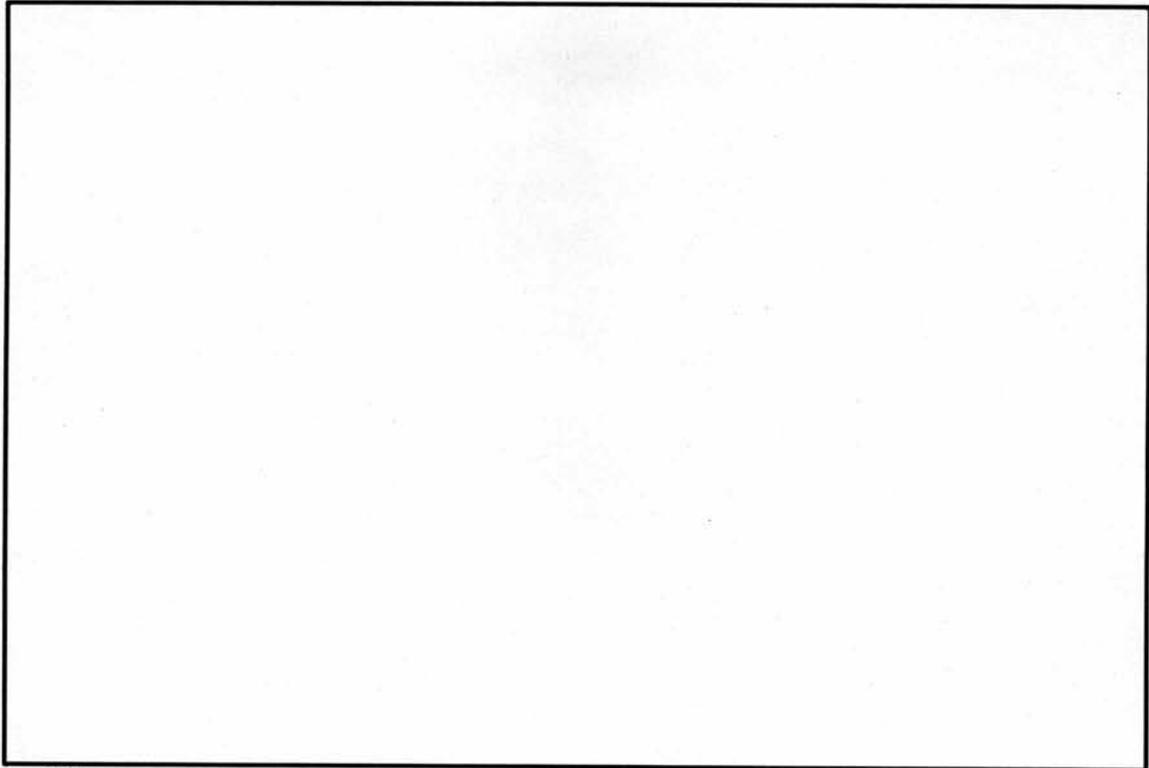
ここに、下記文献の該当箇所が入ります。

McMahan, J. (2002), *The Ethics of Killing: Problems at the Margins of Life*, New York: Oxford University Press, p.p. 95-96
(Our ultimate aim is… の文章から Epicurus and his followers had……for those who die. の文章まで掲載)

傍線部該当箇所は以下の通りです。

- ・ If this is right, …… の文章から If the answer to this question is…… to kill the other. の文章まで (2段落目全て)
- ・ There are……bad for the victim. の1文 (3段落目全て)
- ・ Just as ordinary people tend to do,……. の文章から Even Socrates, …… and Hesiod and Homer. “ の文章まで (4段落目4文目まで)

(ただし Our ultimate aim is……. の文章から Murder is …… the gravest harm: death. の文章までを1段落目とし、掲載文章は全部で5段落で構成であるとします。)



注)

hemlock : ドクニンジン (の毒汁)

Orpheus, Musaeus : オルフェウス、ムサイオスともに古代ギリシアの伝説的詩人

Hesiod : ヘシオドス 古代ギリシアの詩人で『仕事と日々』『神統記』の作者

Homer : ホメロス ギリシア最古の叙事詩『イリアス』と『オデュッセイア』の作者

(McMahan, J. (2002). *The Ethics of Killing: Problems at the Margins of Life*. New York: Oxford University Press, pp. 95-96. より作成)

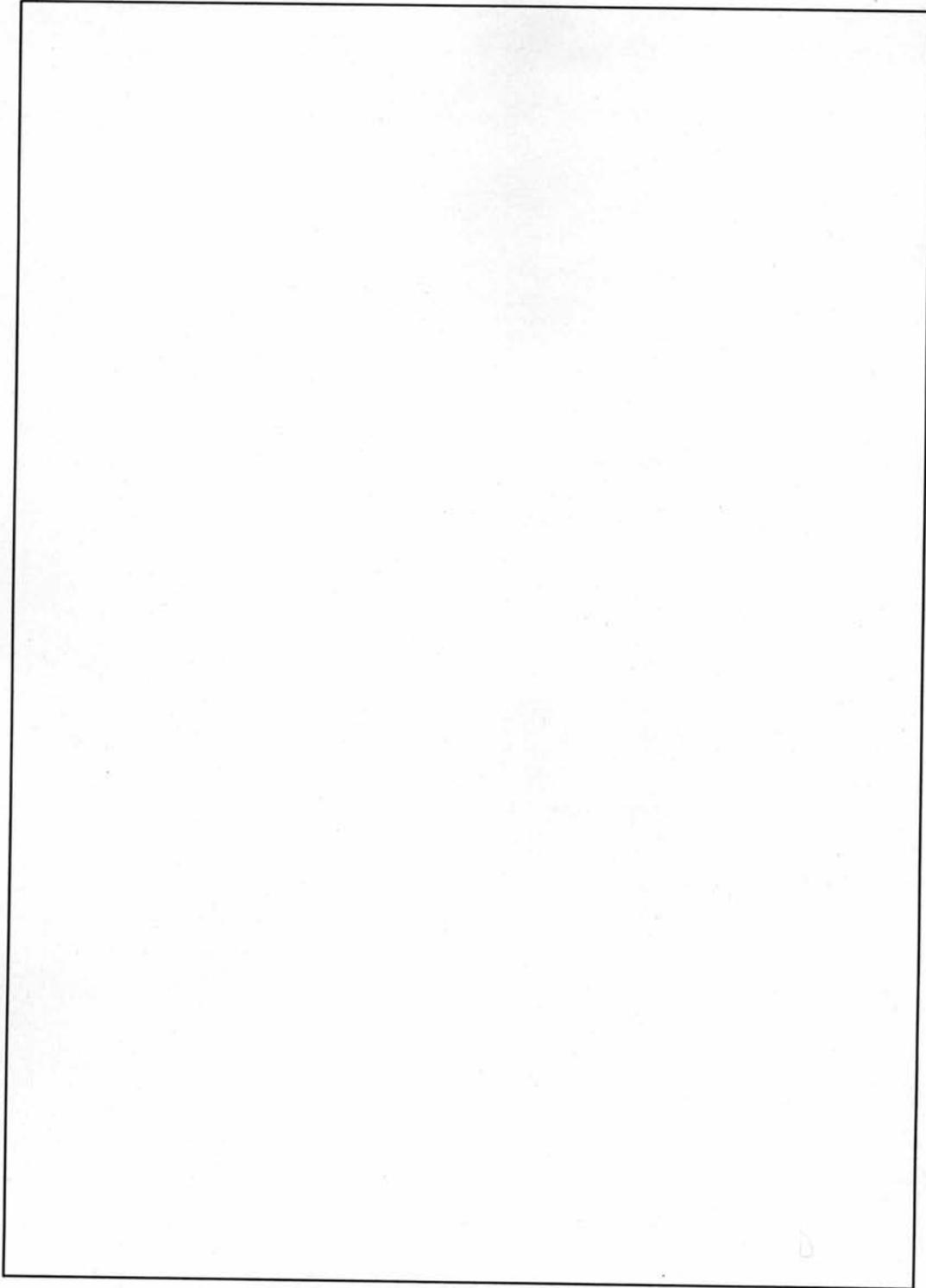
【設問2】 次の英文を読み、下線部①～④を日本語に訳しなさい。ただし、人名については原文表記のままでよい。

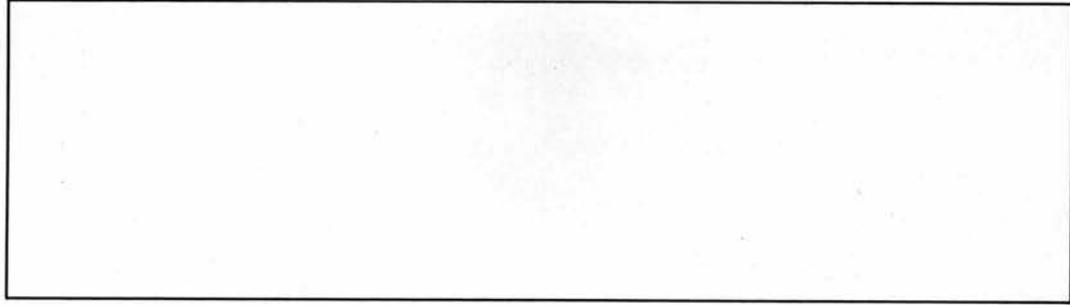
ここに、下記文献の該当箇所が入ります。

Butler-Brown, T. (2017). 50 Psychology Classics (2nd. Edition). London: Nicholas Brealey Publishing, pp.17-19
(Like Freud, の文章から They forget to other people. の文章まで)

また、次の箇所について下線が付してあります。

- ・下線① 「Adler is famous for and become its most capable member.」の1文
- ・下線② 「While a complex may make for that in overachievement.」の1文
- ・下線③ 「For instance, to an abrupt end.」の1文
- ・下線④ 「When the first force, or absence of social graces.」の1文





(Butler-Bowdon, T. (2017). *50 Psychology Classics (2nd. Edition)*. London: Nicholas Brealey Publishing, pp.17-19. より作成)

平成30年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

入学試験問題 外国語科目（日本語）

注 意

- 1 試験時間は90分。
- 2 問題紙は 5 枚(表紙を除く)、解答紙は 2 枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の使用は、不可とする。

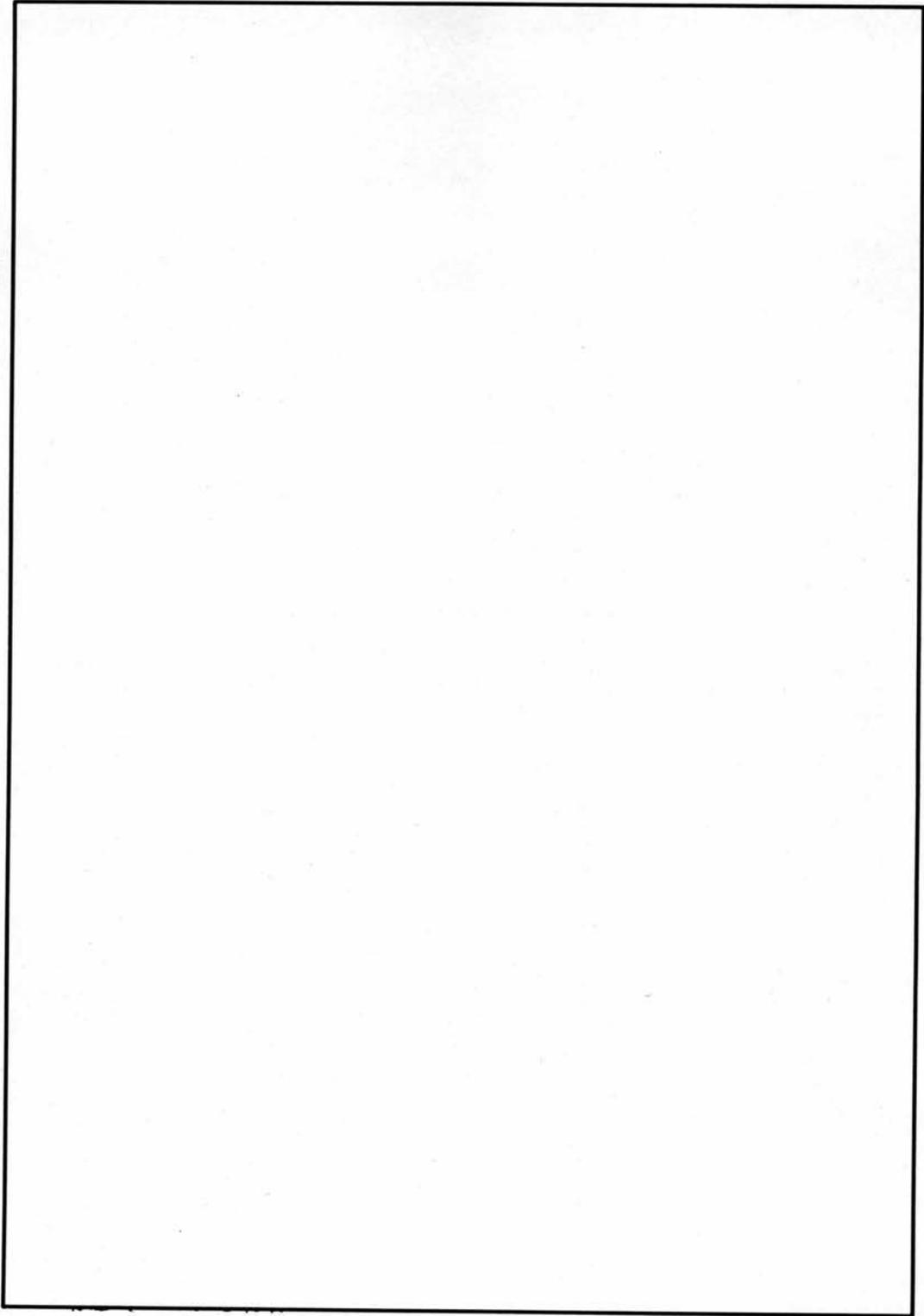
設問一 次の文を読み問いに答えなさい。

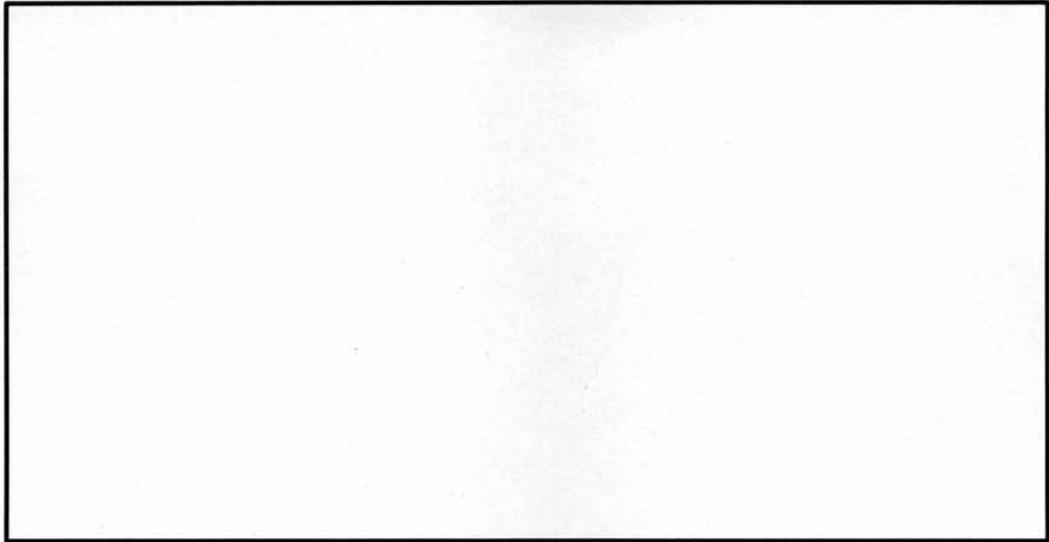
ここに、下記文献の該当箇所の一部改変された文章が入ります。

広田照幸『教育には何ができないか 教育神話の解体と再生の試み』春秋社、2003年、pp.82-86

(「総じていうと、学校教育をめぐる議論は……(中略)……という印象を持っている。」という文章から「ところが、あるべき学校が……(中略)……という地点にとどまり続ける。」という文章まで掲載)

1/5





(広田照幸『教育には何ができないか 教育神話の解体と再生の試み』春秋社、二〇〇三年、
八二〜八六頁より作成、一部改変)

- 問 1 傍線部(一)〜(五)の片仮名を適切な漢字に書き改めなさい。
- 問 2 傍線部①の「そのこと」の示す内容を説明しなさい。
- 問 3 傍線部②の「二つの点で出口のない隘路」について、本文に即して具体的に説明しなさい。
- 問 4 傍線部③の「ある種の転倒」とは、どんな転倒か説明しなさい。
- 問 5 本文の内容を二〇〇字以内で要約しなさい。

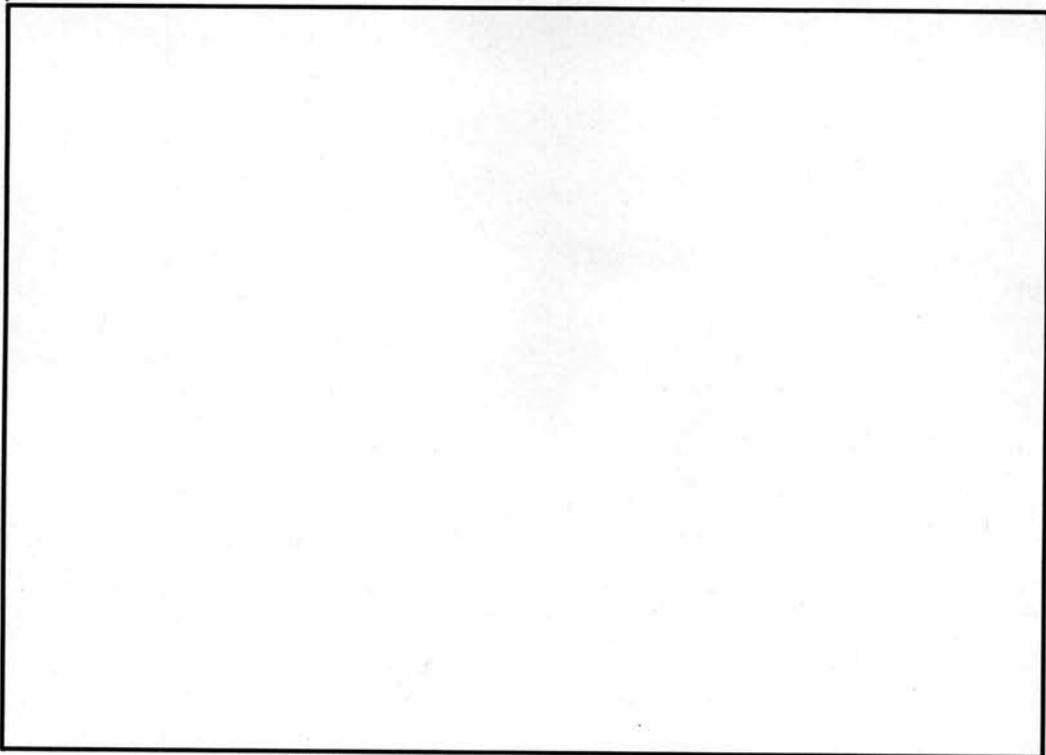
3/5

設問Ⅱ 次の文を読み問いに答えなさい。

ここに、下記文献の該当箇所の一部改変された文章が入ります。

今井むつみ『ことばと思考』岩波書店、2010年、pp.142-145

(「私たちは世界を様々にくくり、……。」の文章から「ことばが存在していなかったら、……不可能なのである。」の文章まで掲載)



(今井むつみ『ことばと思考』岩波書店、二〇一〇年、一四二〜一四五頁より作成、一部改変)

5/5

問 1 傍線部 (一) ～ (五) の漢字に仮名をふりなさい。

問 2

A

 }

C

 に当てはまる最も適切な語句を次から選んで番号で答えなさい。

- 1 ウシとブタ 2 ウシとミルク 3 サルとバナナ

問 3 傍線部 ① 「名詞によってラベルづけされる分類」とは何か、本文に即して具体的に説明しなさい。

問 4 傍線部 ② 「ラベルを共有しているモノ同士は同じ属性を持つ」という思考を表す単語を本文から抜き出しなさい。

問 5 幼児にとっての帰納推論の重要性について筆者はどのように考えているか。本文に即して説明しなさい。

平成30年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

人間形成論研究コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は 1 枚（表紙を除く）、解答紙は 3 枚。
- 3 設問Ⅰ（共通問題）は全員解答すること。また、設問Ⅱ（選択問題）については、問いを選択のうえ解答すること。
- 4 解答は、問題番号を明記のうえ、それぞれ別の解答紙に記入すること。

設問Ⅰ あなた（受験者）にとって関心のある、ひとりの、あるいは比較・検討という視点からであれば複数の教育学者に関して、その教育思想を論述しなさい。

設問Ⅱ 以下の問い（1～3）から2問を選択して答えなさい。

1 近代日本における教育の特質について、国家との関係という視点から、具体的な事例なども挙げながら論述しなさい。

2 人間の「生涯」と人間の「形成」との関わりについて論述しなさい。

3 身近な通過儀礼から分離、過度、統合の局面を説明し、通過儀礼の必要性を論述しなさい。

平成30年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育政策科学研究コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は4枚（表紙を除く）、解答紙は3枚。
- 3 設問Ⅰ（共通問題）は全員解答すること。また、設問Ⅱ（選択問題）については、問題紙中に志望する専門分野ごとの問題選択の方法が記してあるので、それに応じて問題を選択の上、解答すること。
- 4 解答は、設問番号を明記の上、それぞれ別の解答紙に記入すること。

設問Ⅰ：共通問題（全員解答すること）

次の文を読み、下記の問いに答えなさい。

明治維新以降 1970 年代まで日本の教育はアジア諸国の近代化モデルとして、中央集権的効率的教育行政、画一的な平等による競争教育、公教育の民間依存などを特徴としてきた。しかしながら、この近代化モデルは 1980 年代以降、産業主義社会からポスト産業社会へと変容をもたらすグローバリゼーションの進行で破綻の様相を呈した。我が国の教育は、ナショナリズムの一層の強化、教育行政の分権化、私的セクターのマネジメント手法を取り入れて画一的平等化から多様化へと舵をきる改革を進めている。

【問い】近年改正された、教育基本法、学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律における主な改正内容とその特徴について述べなさい。

設問Ⅱ：選択問題（志望する専門分野の問題を選択して解答すること）

【教育社会学分野】

次の各問いに答えなさい。

問1. 以下の語句について、具体例を示し、200字程度で説明しなさい。

- ①構造移動と純移動
- ②象徴的相互作用と感情労働
- ③ラベリング理論と予言の自己成就

問2. 以下の語句について、実証研究での応用例をあげて、200字程度で説明しなさい。（注：とりあげる応用例は、架空のもので構わない）

- ①イベント・ヒストリー分析（Event-history analysis）
- ②RDD（Random Digit Dailing）法
- ③ベイズの定理

問3. 文化資本と社会関係資本が社会的地位達成に与える影響について、具体例をあげて説明しなさい。

【教育行政学分野】

次の各問いに答えなさい。

問1. 日本では地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、新しい地方教育行政制度が平成27年度からスタートしました。このことについて次の(1)(2)に答えなさい。

(1) この改正の概要を記述しなさい。

(2) 新しい地方教育行政制度がスタートしたことによって、地方教育行政がどのように変化したかを実証的に明らかにするための研究計画を記述しなさい。

問2. 教育行政に関する次の語句の中から3つを選択し、それぞれ200字程度で説明しなさい。

- ①Mayoral takeover
- ②Street-level bureaucracy
- ③Collective bargaining
- ④No Child Left Behind Act
- ⑤Intergovernmental relations

【教育計画論分野】

次の各問いに答えなさい。

問1. 以下の5つの語句から2つ選択し、それぞれ200字程度で説明しなさい

(注：解答文中に、選択した言葉を必ず含めること)。

- ①シグナリング論
- ②教育過剰
- ③教育の社会的成果
- ④ソーシャル・キャピタル
- ⑤重回帰分析

問2. 知識基盤社会と呼ばれる今日、教育に期待されている役割と同時に、関連して生じうる社会問題について、日本の事例に即して論じなさい。

平成30年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

成人継続教育論研究コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は1枚（表紙を除く）、解答紙は2枚。
- 3 設問Ⅰ（共通問題）は全員解答すること。また、設問Ⅱ（選択問題）については、問題紙中に志望する専門分野ごとの問題選択の方法が記してあるので、それに応じて問題を選択の上、解答すること。
- 4 解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の用紙に記入すること。

設問Ⅰ

日本における環境教育・環境学習の展開と課題について、とりわけ福島第一原発事故後の課題もふまえながら、論じなさい。

設問Ⅱ

以下は、松下圭一著『社会教育の終焉〈新版〉』（2003年、公人の友社）の一節である。ここにみられる、社会教育行政不要論に対して、あなたの見解を論じなさい。

ここに、松下圭一著『社会教育の終焉〈新版〉』2003年、公人の友社の一節が入ります。

該当箇所は、

「日本の国民が政治主体たる市民として……(中略)……「死滅」しなければならないことになる。」の文章から、「この学習も、……(中略)……の「模索」の一契機にとどまる。」の文まで

です。

平成30年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

人間発達研究コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

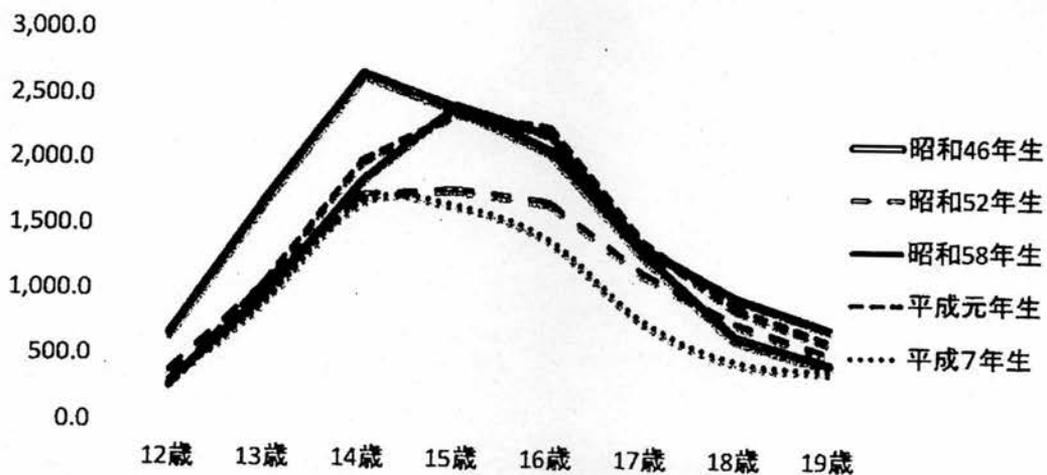
1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は2枚（表紙を除く）、解答紙は4枚。
3. 【共通】【A-1】【A-2】・・・の解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の解答紙に記入すること。
4. 専攻する分野によって解答する問題が異なるので、注意すること。

「発達心理学」分野を専攻しようとするものは【共通】【A-1】【A-2】【A-3】の各問題に解答すること。

「発達障害学」分野を専攻しようとするものは【共通】【B-1】【B-2】【B-3】の各問題に解答すること。

<発達心理学分野>

【共通】 下記の図は、昭和46年、52年、58年、平成元年及び7年に出生した各コホートについて、12～19歳の各年齢時の少年非行率を調べたものである。少年非行率(図の縦軸)とは、それぞれの年齢の者10万人当たりの一般刑法犯検挙(補導)人員をいう。この図を踏まえつつ、少年非行の背景や要因としてどのような問題があると考えられるか、思春期における発達のな特徴と、その規定要因について言及しながら論じなさい。



(平成27年度 犯罪白書より作成
http://hakusyo1.moj.go.jp/jp/62/nfm/n62_2_3_1_1_2.html)

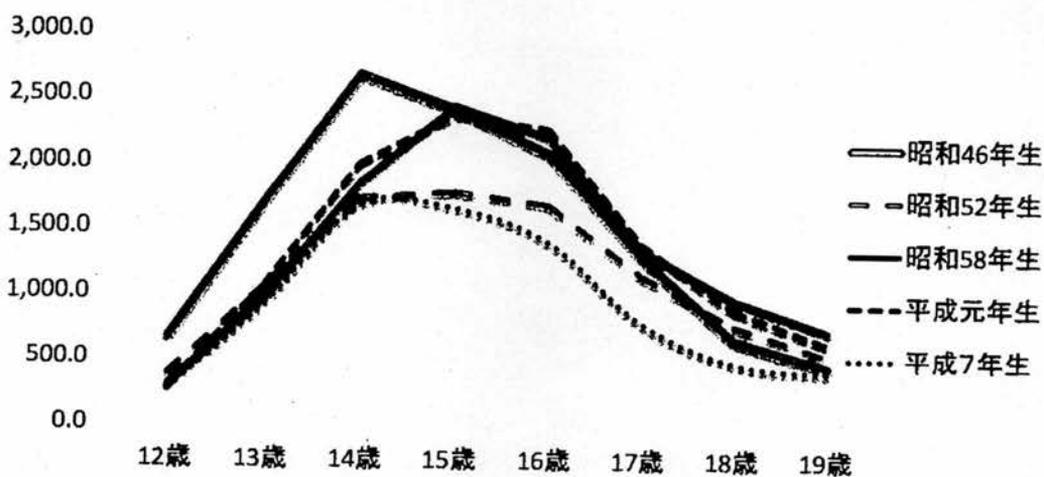
【A-1】 「心の理論」課題について説明した上で、課題の通過と子どもの対人関係との発達との関連について述べなさい。

【A-2】 親子関係が子どもの発達に及ぼす影響について知ろうとする場合、親子関係を「母子関係」「父子関係」といった二者関係ではなく、「父-母-子」といった三者関係としてとらえることの重要性について述べなさい。

【A-3】 「心理的離乳(psychological weaning)」とはどのようなことか。親子関係の発達の变化と関連づけて説明し、その青年期における意味を考察しなさい。

<発達障害学分野>

【共通】 下記の図は、昭和46年、52年、58年、平成元年及び7年に出生した各コホートについて、12～19歳の各年齢時の少年非行率を調べたものである。少年非行率(図の縦軸)とは、それぞれの年齢の者10万人当たりの一般刑法犯検挙(補導)人員をいう。この図を踏まえつつ、少年非行の背景や要因としてどのような問題があると考えられるか、思春期における発達のな特徴と、その規定要因について言及しながら論じなさい。



(平成27年度 犯罪白書より作成
http://hakusyo1.moj.go.jp/jp/62/nfm/n62_2_3_1_1_2.html)

【B-1】 学校教育現場における合理的配慮について、以下のタームを交えて説明しなさい。

「特別な教育的ニーズ」、「合意形成」、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」

【B-2】 次の一文はDSM-5で変更が加えられた自閉スペクトラム症に関する項目である。特に下線の部分に留意し自閉スペクトラム症の診断において、近年どのような変化が生じたと考えられるか論じなさい。

『Symptoms must be present in early childhood (but may not become fully manifest until social demands exceed limited capacities)』

【B-3】 「ワーキングメモリ」の概念について述べ、ワーキングメモリが学習面あるいは行動面に及ぼす影響について具体例を挙げて説明しなさい。

平成30年度 (第1期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜および社会人特別選抜)

臨床心理研究コース

入学試験問題 (専門科目)

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚(表紙を除く)、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと(設問Ⅰ～設問Ⅲの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問Ⅳの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること)。

……………臨床心理研究コース 一般選抜および社会人特別選抜……………

【設問Ⅰ】 摂食障害への心理的アプローチについて述べなさい。

(20点)

【設問Ⅱ】 東日本大震災から6年半が過ぎた。当時被災し、現在、①中高生、②高齢者である人たちについて、それぞれの世代へのこころのケアとして考えることを述べなさい。

(20点)

【設問Ⅲ】 臨床心理学の独自性について、隣接諸科学や他領域の心理学と比較して述べなさい。

(20点)

【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。

(各5点)

- (1) フェルトセンス
- (2) オットー・ランク (Otto Rank)
- (3) ワーキングメモリ
- (4) ブーメラン効果
- (5) コンサルテーション・リエゾン
- (6) 発達障害者支援法
- (7) 標準得点
- (8) EPPS

(以下余白)

平成30年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育設計評価専攻

入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は...3枚(表紙を除く)、解答紙は...4枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。

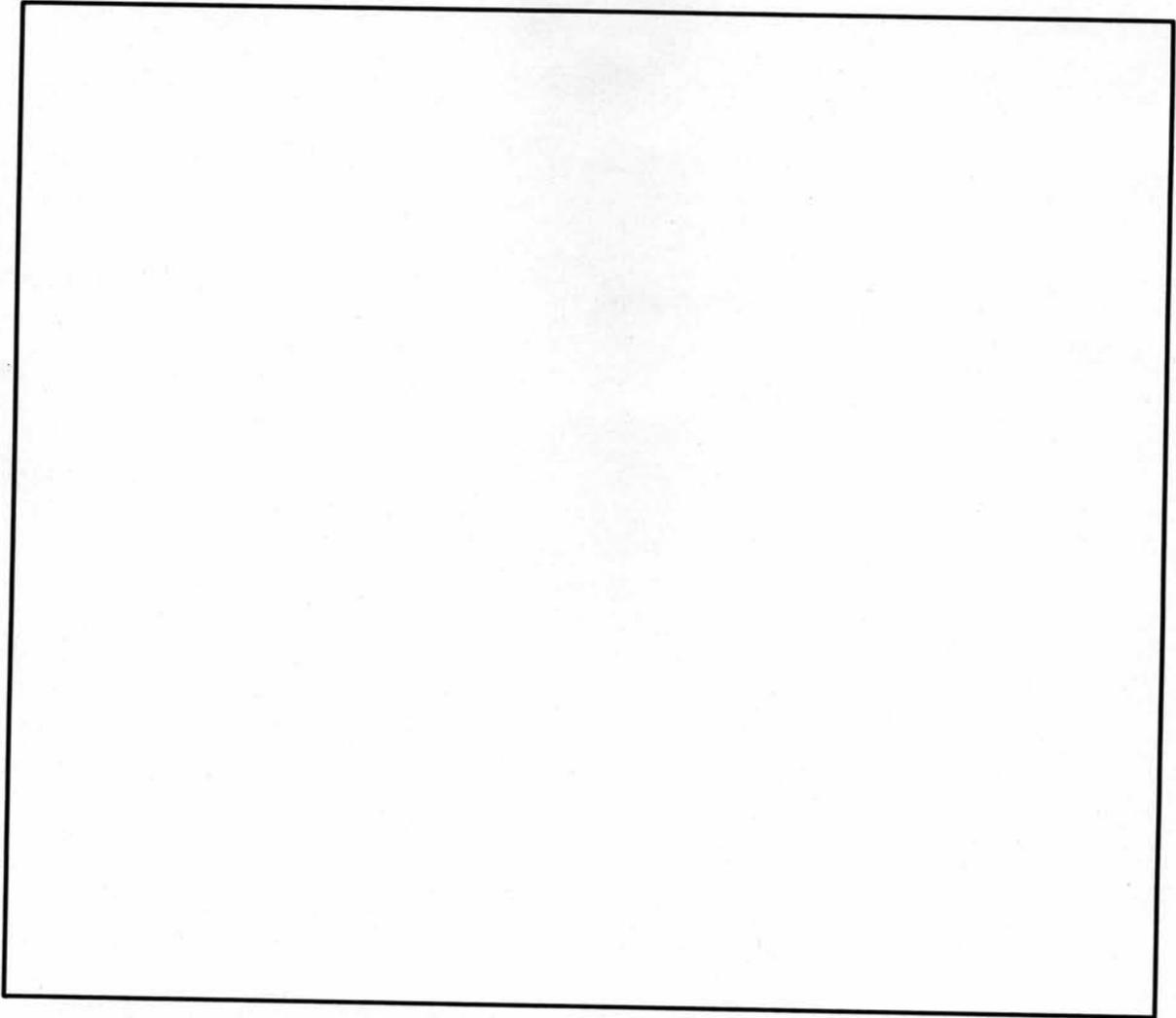
設問Ⅰ 次の文章は、「教育改革」の現状を俯瞰的に考察した論稿の一部である。文中では、「教育改革」の概念規定が類似の用語との関係において整理されている。この整理に基づいて2006（平成18）年の教育基本法改正以降の日本における教育政策の展開を振り返るならば、それは「教育変革」と呼ぶに値すると言えるか、著者の主張も参考にしながら、あなた自身の考えを論じなさい。

ここに、荻原克男「教育改革と教育変化—その現代的位相」日本学校教育学会『学校教育研究』第29号、2014年、pp.8-28の抜粋で一部改変された文章が入ります。

該当箇所は、

「まず、『教育改革』とは何かについて……。」の文章から、「言葉の洗濯(概念の交通整理)は、……（中略）……としても有用であろう。」の文章まで

です。



(荻原克男「教育改革と教育変化—その現代的位相」日本学校教育学会『学校教育研究』第29号、2014年、8-28頁より抜粋。一部改変。)

設問Ⅱ 教育学研究においてエビデンス（科学的根拠）をいかに蓄積していくかは重要な問題である。その問題を考える上で疫学研究は大きな示唆を与えてくれる。

疫学で発展してきた研究方法には大きく、ケース・コントロール研究とコホート研究があるとされる。ケース・コントロール研究は、ある疾患（病気）を持つ患者グループをケース群、そのグループの年齢や性別などの条件を同じにしかつその疾患をもたないグループをコントロール群として、その疾患について関連が疑われるさまざまな要因（原因）についてこの2つの集団を調査し、この2つの集団間に存在する差異を比較し、過去にさかのぼって疾患の要因を見つけ出そうとするものである。

一方、コホート研究では、最初にその疾患をもたない健康な人々の集団に対して、疾患との関連が疑われる要因を調査し記録にとどめておき、長期にわたりその集団を追跡調査し、その疾患の出現（発生、罹患）を把握した上で要因を特定するという方法がとられる。

以上の疫学研究の考え方を踏まえ、次の問に答えなさい。

- 問1 ケース・コントロール研究とコホート研究を対比しながら、その長所と短所をそれぞれ一つ指摘しなさい。
- 問2 教育においてエビデンスを取得しなければならない具体的な例をあなた自身で想定し、それをわかりやすく記述しなさい。
- 問3 問2の例に対してケース・コントロール研究をとるべきかコホート研究をとるべきかを理由を挙げて述べなさい。
- 問4 そのために考えられる調査計画をできるだけ具体的に作成しなさい。